

平成 28 年度 第 6 回国際資源学研究科執行部会議議事要旨

日 時：平成 28 年 7 月 15 日（金）14:30～15:50

場 所：国際資源学研究科第 2 会議室

出席者：佐藤研究科長（議長）、宮本、柴山、安達、大場各委員

欠席者：今井委員、藤井委員

議 事

1. 平成 28 年度第 4 回、第 5 回（臨時）執行部会議議事要旨の確認

第 4 回、第 5 回（臨時）執行部会議の議事要旨が確認された。

2. 学生異動について

研究科長（教育学生委員長代理）から資料 2 に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

3. 研究生の受入について

研究科長（教育学生委員長代理）から資料 3 に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

4. 平成 29 年度各種募集要項（案）について

柴山入試委員会副委員長から、資料 4-1 から 4-3 に基づき平成 29 年度の学部入試にかかる各種募集要項について説明があり、審議の結果、了承された。

5. 平成 29 年 4 月入学秋田大学大学院国際資源学研究科募集要項外国人留学生特別入試 I・II（案）について

柴山入試委員会副委員長から資料 5 に基づき説明があり、審議の結果、一部修正（表中の Division を削除）することで了承された。

6. 南アフリカ共和国地質調査所との MOU 締結について

大場資源地球科学コース長から資料 6-1、6-2 に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

また、研究科長から今回は国際資源学部の「海外資源フィールドワーク」に関する MOU であるため、学部判断での締結となる旨説明があった。なお、今後同様な事案がある場合は、相談して決めていきたい旨発言があった。

7. 平成 29 年度概算要求について

研究科長から、資料 7 に基づき平成 29 年度概算要求に係る事前相談の状況について、報告があった。

8. 国際資源学部等施設展開PT 報告及び1号館南側について

藤嶋総括主査から、資料8に基づき施設展開の状況について報告があった。なお、1号館南側について、9月末には教育文化学部の移転が概ね完了し本研究科の管理となるため、その使用方法をどうするのか、また冬期間の暖房をこれまでどおりのボイラー運転とするのかを審議願いたい旨提案があり、審議の結果、1号館南側の使用方法については研究科長と各コース長で検討することが了承され、冬期間の暖房についてはボイラーを使用しないことが決定した。

9. 外部資金の受入状況について

滝川会計担当主査から資料9-1、9-2に基づき、外部資金の受入状況について説明・報告があり、審議の結果、了承された。

10. 平成28年度鉱業博物館夏季事業について

中村博物館担当主査から資料10に基づき、鉱業博物館の夏季事業について報告があった。

11. 平成28年度第3回教育研究評議会報告

研究科長から資料11に基づき、教育研究評議会の報告があった。

12. 海外資源フィールドワーク委員会からの提案について

研究科長から、海外資源フィールドワーク委員会から資料12のとおり提案があった旨説明があり、審議の結果、提案どおり承認された。

13. 英語に関するアンケート調査の結果について

研究科長から資料13に基づき、先般実施した学生に対する英語のアンケート調査の結果について報告があった。なお、各教員への英語の聞き取りについては、各コースで実施されたい旨依頼があった。

14. その他

1) 研究科長から、海外資源フィールドワークに関する健康調査表の提出状況について資料14のとおり報告があり、未提出者へは各担当教員から連絡されたい旨依頼があった。また、プログラムの内容を各コースで再度チェックされたい旨併せて依頼があった。

2) 研究科長から、本学部一期生の就職について学長が懸念されている旨説明があり、関係する企業を学長及び学部長等で訪問する予定である旨報告があった。

3) 次回執行部会議を7月29日(金)14時30分から開催することが確認された。

以上